

2021年入学 大学2年生の大学生活等に関する調査

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の研究機関・就職みらい研究所（所長：栗田 貴祥）は、2022年10月に「2021年入学 大学2年生の大学生活等に関する調査」を実施しました。調査結果をまとめましたので、ご報告申し上げます。

調査結果サマリ

コロナ禍により生活の様式が変化し、大学生は学生生活で身に付く体験に制約を受けることとなった。結果として採用選考時に学生がアピールするための経験（または人事が評価するための経験）が少ないという悩みの声が聞かれるようになった。そのような環境下で、大学生はどのように大学生活を送り、進路についてどのような意識・行動を取っているのかを明らかにするため調査を実施した。

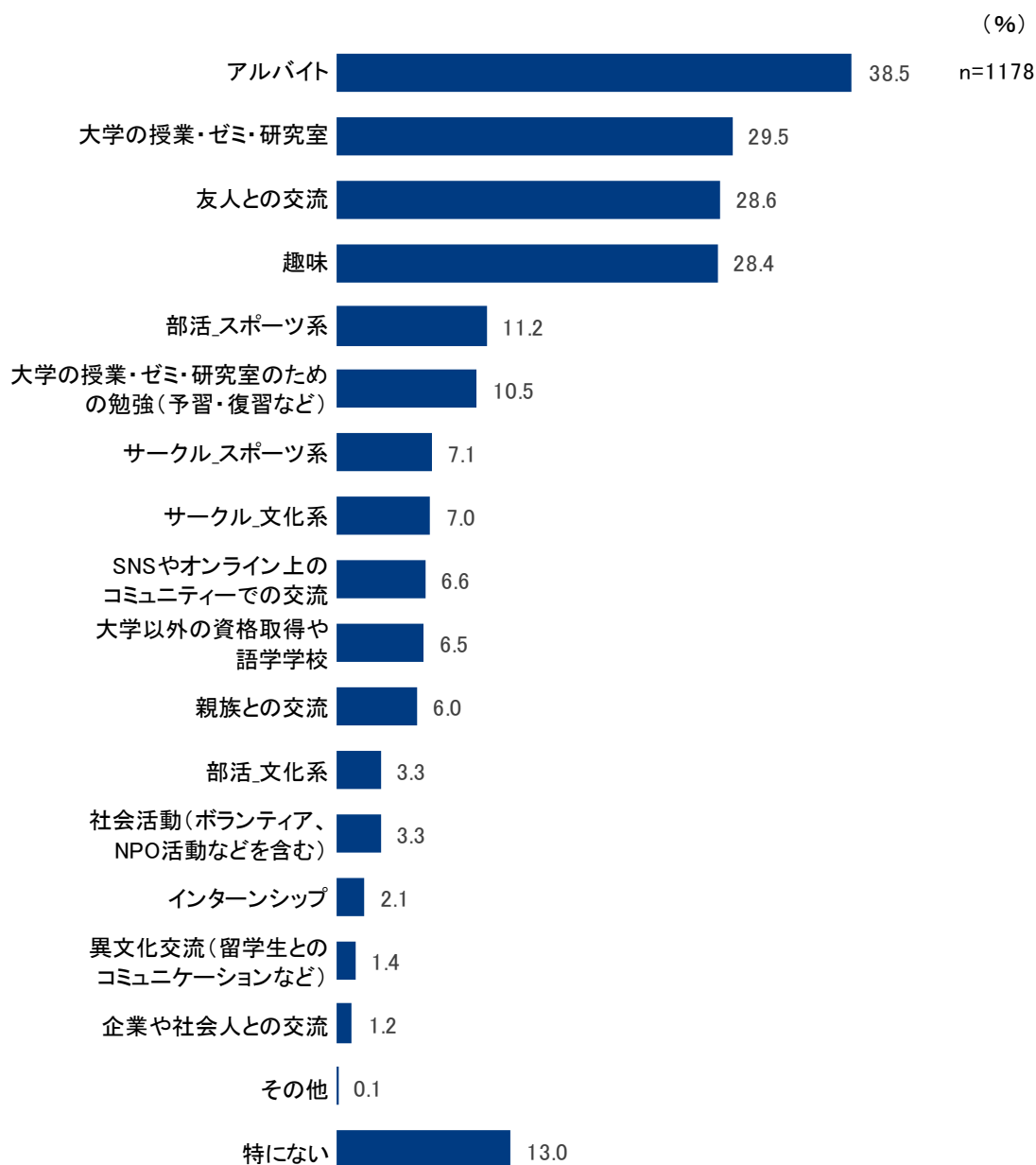
【主な調査結果】

- 大学入学以降力を入れている活動やコミュニケーションは、「アルバイト」が38.5%と最も高く、「大学の授業・ゼミ・研究室」「友人との交流」「趣味」と続いた。
- 一方で、最も刺激を受けている関係が得られた活動は、「大学の授業・ゼミ・研究室」が5割弱で最も高く、次いで「アルバイト」「友人との交流」が約3割で続く。
- 大学入学時からの大学生活に満足している割合は、2020年入学は39.2%だったのに対し、2021年入学は59.7%と大幅に増加。また、不満な学生は、2020年入学は32.3%だったのに対し、2021年入学は16.1%と約半分の割合になった。
- 就職活動について考えるときの気持ちは、不安が62.3%で、理由は「内定を獲得できるか心配だから」の割合が最も高い。
- 大学生活に満足している学生は、不満な学生と比べて入学後新たに「大学内の同学年の友人」以外に大学外の同学年の友人、先輩・後輩など多様な人間関係を形成している割合が高い。

2021年度入学の大学生に大学入学以降力を入れている活動やコミュニケーションについて聞いたところ、「アルバイト」が38.5%と最も高く、「大学の授業・ゼミ・研究室」「友人との交流」「趣味」と続いた。一方で、P3の最も刺激を受けている関係が得られた活動では、「大学の授業・ゼミ・研究室」が5割弱で最も高く、次いで「アルバイト」「友人との交流」が約3割で続く。

また、大学生が力を入れる活動として想起されやすい部活動・サークルについては、「部活_スポーツ系」が11.2%、「サークル_スポーツ系」7.1%、「サークル_文化系」7.0%、「部活_文化系」3.3%という結果になった。

■ 大学入学以降注力している活動・コミュニケーション (全体/複数回答)



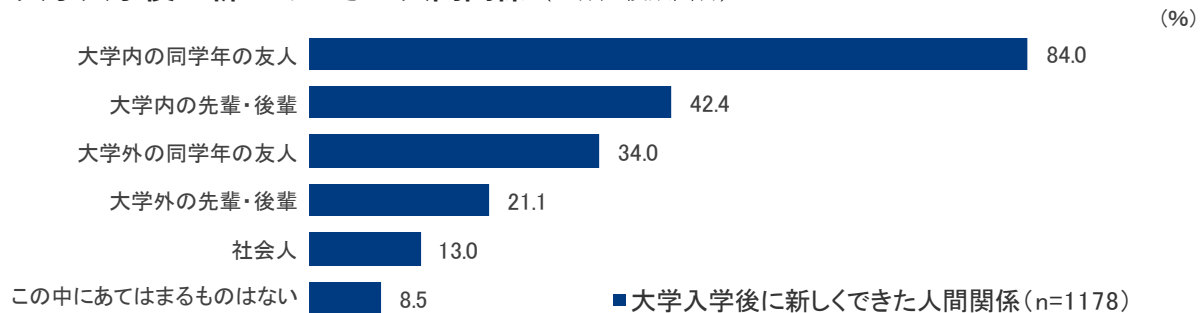
大学入学後に得られた人間関係

大学入学後に新しくできた人間関係については、「大学内の同学年の友人」が84.0%と最も高く、次いで「大学内の先輩・後輩」42.4%、「大学外の同学年の友人」34.0%であった。

大学入学後に新しくできた人間関係のうち、最も刺激を受けている関係は「大学内の同学年の友人」が59.6%と最も高い。一方で、「刺激はどの関係からも受けていない」が15.1%と2番目に高い結果となった。

最も刺激を受けている関係が何の活動から得られているかを見ると、「大学の授業・ゼミ・研究室」が48.9%と最も高い結果となった。次いで「アルバイト」「友人との交流」が約3割で続く。

■ 大学入学後に新しくできた人間関係 (全体/複数回答)



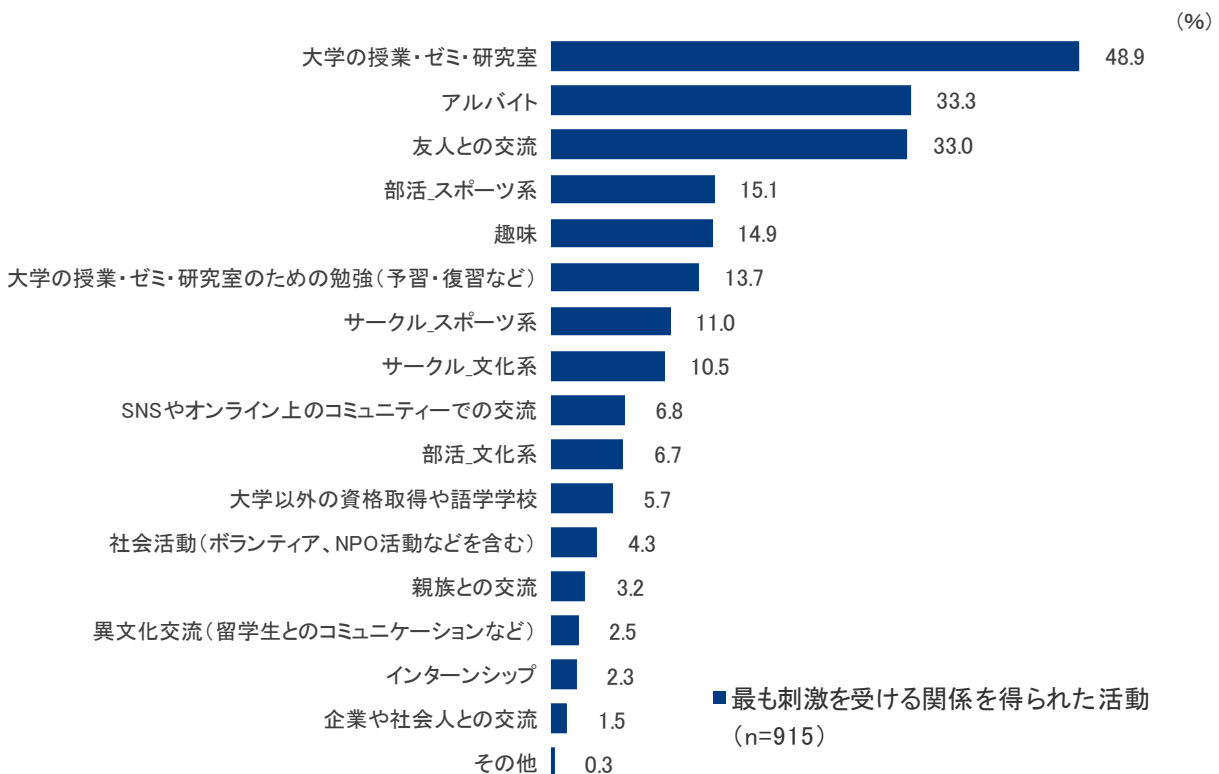
■ 大学入学後に新しくできた人間関係のうち最も刺激を受けている関係

(大学入学後に新しくできた人間関係の回答者/単一回答)



■ 最も刺激を受けている関係を得られた活動

(最も刺激を受けている関係の回答者/複数回答)

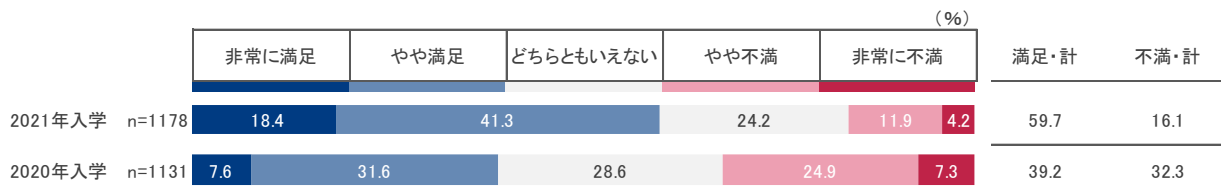


大学入学時から大学2年生10月時点までの大学生生活の満足度や、進路についての意識・行動について、2021年入学と2020年入学の学生で比べると、大学生生活の満足度は「非常に満足」「やや満足」を合わせた「満足・計」が2020年入学は39.2%だったのに対し、2021年入学は59.7%と大幅に増加した。また、「やや不満」「非常に不満」を合わせた「不満・計」についても、2020年入学は32.3%だったのに対し、2021年入学は16.1%と約半分の割合になった。

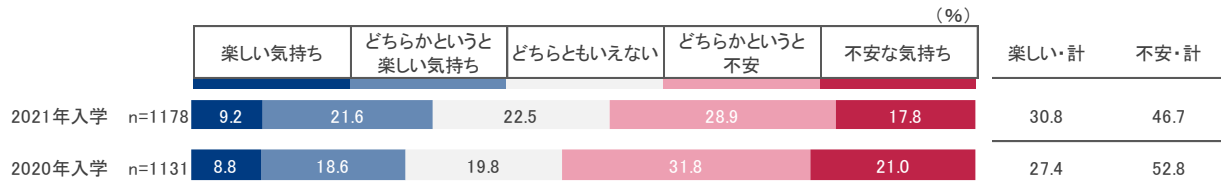
卒業後の進路を考えたときの気持ちについては、「楽しい気持ち」「どちらかという楽しい気持ち」を合わせた「楽しい・計」が2021年入学は30.8%、「どちらかという不安」「不安な気持ち」を合わせた「不安・計」が46.7%で、2020年入学と比較して若干「楽しい・計」が増加したが、傾向に大きな違いはない。

卒業後に働くことについての意識、卒業後に就きたい仕事ややりたいことを見つけるための行動についても、2021年入学と2020年入学で傾向に大きな違いはない。卒業後に働くことについての意識について「意識している」割合は5割弱である一方、卒業後に就きたい仕事ややりたいことを見つけるための行動について「行動している」割合は約16%という結果になった。

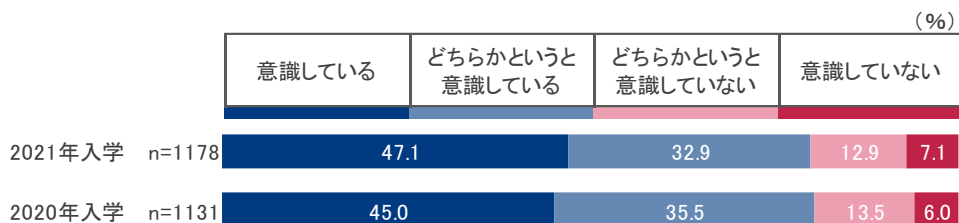
■ 大学入学時からの大学生生活の満足度 (全体/単一回答)



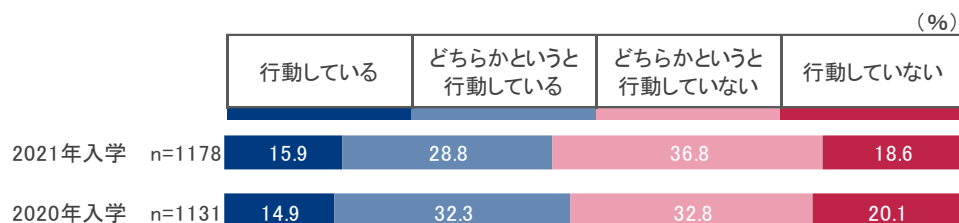
■ 卒業後の進路を考えたときの気持ち (全体/単一回答)



■ 卒業後に働くことについての意識 (全体/単一回答)



■ 卒業後に就きたい仕事ややりたいことを見つけるための行動 (全体/単一回答)

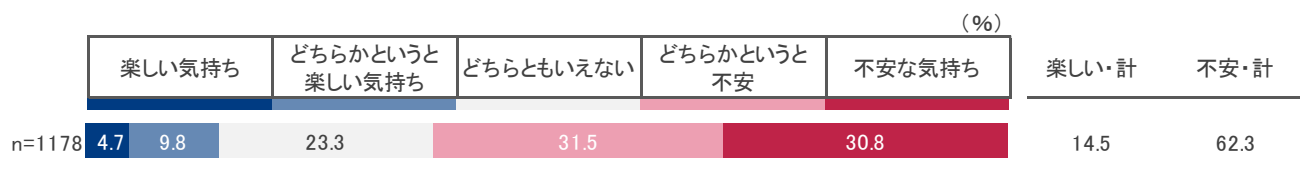


就職活動についての気持ち、不安な理由

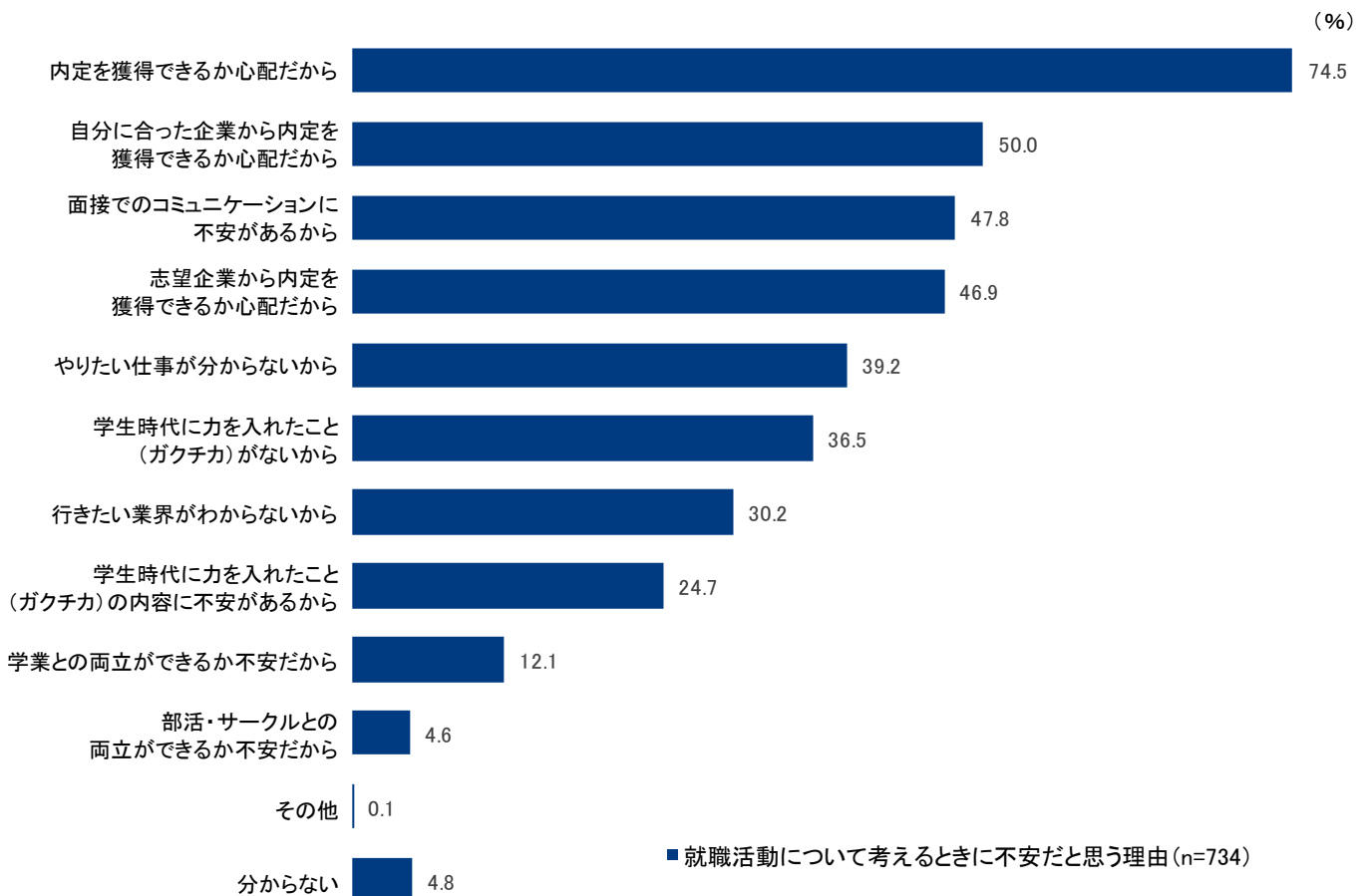
就職活動について考えるときの気持ちについて、「不安な気持ち」「どちらかというと不安」を合わせた「不安・計」62.3%と、「楽しい気持ち」「どちらかというと楽しい気持ち」を合わせた「楽しい・計」が14.5%を大幅に上回る。

「不安な気持ち」「どちらかというと不安」と回答した学生に、不安だと思う理由について聞くと、「内定を獲得できるか心配だから」が74.5%で最も多く、「自分に合った企業から内定を獲得できるか心配だから」「面接でのコミュニケーションに不安があるから」「志望企業から内定を獲得できるか心配だから」と続き、内定取得に関する不安が上位に多いことが分かる。

■ 就職活動について考えるときの気持ち (全体/単一回答)



■ 就職活動について考えるときに不安だと思う理由 (「不安な気持ち」「どちらかというと不安」の回答者/複数回答)



大学生生活満足度別_大学入学後の人間関係

大学生生活の満足度と入学後の人間関係について分析した。

まず大学入学後に新しくできた人間関係だが、いずれの満足度においても「大学内の同学年の友人」が最も高いが、「非常に満足」において「大学外の同学年の友人」45.6%が他と比べて高いことが分かる。また、「大学内の先輩・後輩」についても「非常に満足」で55.3%、「やや満足」で45.7%と他と比べて高い。

大学入学後に新しくできた人間関係のうち最も刺激を受けている関係については、「非常に満足」から「やや不満」まで「大学内の同学年の友人」が最も高いが、「非常に不満」では「刺激はどの関係からも受けていない」が最も高い結果となった。

■ 大学生生活満足度別_大学入学後に新しくできた人間関係 (全体/複数回答)

(%)

			大学内の 同学年の 友人	大学内の 先輩・後輩	大学外の 同学年の 友人	大学外の 先輩・後輩	社会人	この中に 当てはまる ものはない
全体		n=1178	84.0	42.4	34.0	21.1	13.0	8.5
大学生生活 満足度別	非常に満足	n=217	89.4	55.3	45.6	30.0	17.5	4.1
	やや満足	n=486	89.1	45.7	33.7	20.0	12.8	5.6
	どちらともいえない	n=285	78.2	34.7	28.4	17.2	10.9	11.2
	やや不満	n=140	75.0	30.0	30.7	17.9	12.1	16.4
	非常に不満	n=50	70.0	32.0	26.0	26.0	10.0	18.0

■ 大学生生活満足度別_大学入学後に新しくできた人間関係のうち

最も刺激を受けている関係 (大学入学後に新しくできた人間関係ありとの回答者/単一回答)

(%)

			大学内の 同学年の 友人	大学内の 先輩・後輩	大学外の 同学年の 友人	大学外の 先輩・後輩	社会人	刺激はど の関係か らも受けて いない
全体		n=1078	59.6	8.9	8.3	4.2	3.9	15.1
大学生生活 満足度別	非常に満足	n=208	66.8	10.1	8.2	5.8	2.9	6.3
	やや満足	n=459	64.9	10.0	7.4	3.7	4.4	9.6
	どちらともいえない	n=253	56.5	7.1	10.3	4.0	3.6	18.6
	やや不満	n=117	41.0	7.7	9.4	4.3	3.4	34.2
	非常に不満	n=41	36.6	4.9	2.4	2.4	7.3	46.3

■2021年入学 大学2年生の大学生活等に関する調査

調査目的：大学2年生の大学生活や価値観、将来イメージ等を明らかにする

調査方法：インターネット調査

調査対象：全国の2021年大学入学の大学2年生

調査期間：2022年10月24日～10月31日

調査回答数：1,178人

■2020年入学 大学2年生の大学生活等に関する調査

調査目的：大学2年生の大学生活や価値観、将来イメージ等を明らかにする

調査方法：インターネット調査

調査対象：全国の2020年大学入学の大学2年生

調査期間：2021年9月30日～10月10日

調査回答数：1,131人

《調査結果を見る際の注意点》

- ・上記2つの調査結果をグラフに使用する場合、2021年入学、2020年入学と記載している。記載のないものについては大学2年生調査を使用している。
- ・%を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値と計算値が一致しない場合がある
- ・データは無回答サンプルを除いて集計している

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万6,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2020年度の売上収益は2兆2,693億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここがない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>